

旬な現場 ～若手技術者の紹介～

平成29年度 清水港外港防波堤（改良）消波工事（その2）

発注者：清水港湾事務所
受注者：鈴木建設株式会社



2014年入社 山本 大智

■ 建設業に入った動機

学生時代は、ものづくりに興味があったことから建設系の大学へ進学しました。それから勉強していくにつれ、社会基盤の重要性を知ると同時に、それらを自ら主体となって携われる仕事に就きたいという気持ちが強くなったことが、建設業へ入ったきっかけです。

■ 現場での役割と魅力

この仕事の基本は安全管理・品質管理・工程管理など様々な管理から成り立っています。特に安全管理は大きなウェイトを占めていて、『安全第一』は常日頃から意識しています。他にも、発注者の方や近隣住民など人との繋がりを良好に保っていくことも仕事を進めていく上で大切な役割です。現場というものは自然を相手にする仕事なので、必ずといっていいほど、どんなに最善の策を練っても思い通りに進んでいきません。そんな現場を携わるすべての人たちと協力して無事に竣工させることが何よりの魅力です。

■ 今後建設業を担う方々へ

この仕事は多様な工種と現場環境が組み合わさっているので、工事が次へ次へと変わっていく度に色んな事を経験できます。新しい現場そのものが教科書であり、新鮮で飽きることがありません。スケールの大きなことがしたい！そんな若手技術者と仲間になるのが楽しみです。

■ 工事概要

東日本大震災を受けて、清水港における防波堤の『粘り強い化』が進められています。その中の対策の一つとして既存消波ブロックの大型化（50t→80t）するため、80t型消波ブロックを製作する工事となります。

